

# 2004年3月期 第3四半期業績の概況(連結)

2004年1月30日

上場会社名 日本ユニシス株式会社

コード番号 8056

(URL <http://www.unisys.co.jp>)

代表者 代表取締役社長 島田 精一

問合せ先 責任者役職名 コーポレートコミュニケーション室長

氏 名 龍岡 慎一

上場取引所 東証第1部

本店所在都道府県

東京都

TEL (03)5546-4111

## 1. 四半期連結決算に係る事項

- (1) 会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無：有  
・時価のある有価証券：減損処理は実施しておりません。
- (2) 当第3四半期の連結子会社数 17社(前期 16社)
- (3) 当第3四半期の数値および前年同四半期の数値については、監査法人による監査を受けておりません。
- (4) 金額は、百万円未満を切捨てて表示しております。

## 2. 当社グループの四半期業績の特性

- (1) 一括請負型システム開発の売上計上基準は検収基準を採用しており、第2四半期および第4四半期に検収が集中することから、当該時期に売上および利益計上が集中いたします。
- (2) ハードウェアおよびソフトウェア販売は、第2四半期および第4四半期に出荷が集中することから、当該時期に売上および利益計上が集中いたします。  
この四半期ごとの業績変動の特性は、当期に発生した特殊事象ではなく、当業界の傾向であります。

## 3. 2004年3月期第3四半期の連結業績(2003年4月1日～2003年12月31日)

### (1) 連結経営成績

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
2004年3月期第3四半期	190,644 1.2	5,025 -	3,913 -	2,720 39.1
2003年3月期第3四半期	193,017 -	399 -	545 -	4,468 -
(参考)2003年3月期	308,838	8,835	9,014	8,346

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2004年3月期第3四半期	25.02	-
2003年3月期第3四半期	40.74	-
(参考)2003年3月期	75.46	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
2004年3月期第3四半期	188,950	93,033	49.2	866.65
2003年3月期第3四半期	196,127	87,826	44.8	800.89
(参考)2003年3月期	223,292	92,063	41.2	838.88

### 【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2004年3月期第3四半期	11,706	4,145	15,530	28,235
2003年3月期第3四半期	12,638	18,685	10,071	23,799
(参考)2003年3月期	20,291	24,887	7,491	27,831

## 4. 2004年3月期の連結業績予想(2003年4月1日～2004年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
通 期	312,000	3,900	3,600	33.54

## (第3四半期連結業績に関する定性的情報等)

### (1) 概況

景気動向には明るさが見えてきており、設備投資と輸出に支えられた緩やかな回復基調が続いています。製造業と非製造業、都市と地方、大企業と中小企業の格差は解消されておらず、企業の情報化投資も価格下落傾向との相殺もあって全体としては依然盛り上がり乏しい状況が続いております。

この様な環境下、日本ユニシスグループは、顧客価値創造提案の強化と新しいサービスビジネスモデルへの転換に注力してまいりました。

当第3四半期においても

経営コンサルティング/ITコンサルティングの案件増加

IAサーバとWindowsの組み合わせによる金融勘定系システムの開発着手

アウトソーシングサービスのセキュリティ分野での新規ビジネス獲得および既存顧客のアウトソーシングのサービス範囲拡大

ネットワーク、サポートサービス分野における他社とのアライアンスのさらなる強化

など新ビジネスモデルの芽は着実に伸びています。

今期は、人材強化/商品開発における先行投資を活発に行い、お客様の経営課題への提案力の強化を図っており、新規顧客の着実な増加など徐々に効果が出はじめています。また、経済界/学会の重鎮をメンバーとする「顧客価値創造経営アドバイザリー・コミッティー」の活動などを通じ、顧客価値創造に一層力を入れております。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

### (2) 経営成績

当第3四半期累計の連結業績につきましては、企業の情報化投資の回復は依然として緩慢であり、投資に対する意思決定までに時間を要する傾向も見られること等から、第3四半期までの売上高合計は前年同四半期比1.2%減少の1,906億44百万円となりました。

上期に引き続きアウトソーシング売上が順調に推移いたしましたものの、システムサービス売上が伸び悩み、サービス売上合計では0.7%の増加となりました。また、ハードウェアの販売は若干の増加となりましたが、賃貸需要の漸減傾向が続いているため、ハードウェア売上合計は4.7%の減少となり、これに伴いソフトウェア売上也2.6%減と伸び悩みました。

利益面につきましては、システムサービスにおける不採算の開発案件発生が利益率を悪化させる要因となり、また、退職給付費用および社会保険総報酬制によるコストの増加や研究開発への積極的な先行投資等の増加もあり、第3四半期までの営業損益は50億25百万円の損失(前年同四半期は3億99百万円の利益)、経常損益は39億13百万円の損失(前年同四半期は5億45百万円の利益)となりました。また、第3四半期に旧赤坂本社の不動産売却により特別利益を計上した一方、事業構造改革に伴う特別損失を計上した結果、当期純利益は27億20百万円(前年同四半期比39.1%減少)となりました。

### (3) 財政状態

総資産の状況につきましては、たな卸資産および有利子負債の圧縮により、前年同四半期末比71億77百万円減少の1,889億50百万円となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、当第3四半期の現金及び現金同等物が、前期末比4億4百万円増加の282億35百万円となりました。

営業活動により得られた資金につきましては、売上債権の減少等により117億6百万円(前年同四半期比9億31百万円減少)となりました。

また、投資活動によるキャッシュ・フローは、旧赤坂本社売却収入142億円があったことから、41億45百万円の収入(前年同四半期比228億30百万円増加)となりました。

財務活動により支出した資金につきましては、有利子負債の返済等により155億30百万円(前年同四半期比54億59百万円増加)となりました。

#### (4) 業績予想

2004年3月期の通期連結業績見通しは、当第3四半期までの業績動向に加え、引き続き競争激化の影響もあること等から、昨年10月31日の中間決算発表時の業績予想を下回る見通しとなりました。

通期の売上高につきましては、サービスビジネスの案件に回復の兆しが見られるものの売上増加までには時間を要するため、これまでの予想を120億円下回る3,120億円(前期比1.0%増)にとどまる見通しであります。

利益面につきましても、売上計画の未達および不採算案件の収束に向けたコスト増加等により、営業利益は30億円(前期比66.0%減)、経常利益は39億円(前期比56.7%減)となる見込みであります。また、第4四半期において退職年金制度の改定に伴う特別損失を59億円計上する予定であることから、当期純利益は36億円(前期比56.9%減)を見込んでおります。

上記システムサービスの不採算案件に関しては、今後発生が見込まれる損失額を当期の費用として引当て、来期業績への影響を一掃させるほか、プロジェクト支援委員会による早期レビュー、支援体制を強化する等プロジェクトマネジメントを一層徹底し、再発防止を図ります。これに加えて、引き続きコスト構造改善を実現するため、事務所経費、退職給付費用を含む人件費等の固定費削減を徹底して行ってまいります。販売活動については、金融・流通を中心に引き合い(内示を含む)が明らかに増加しており、今後の収益の拡大に結びつくものと考えております。また、顧客の経営課題への提案力強化に注力しており、上流からのセールスアプローチをさらに活発化させ、サービスビジネスの拡大を実現してまいります。

上記の連結業績予想は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

## 5. 要約連結財務諸表等

## 要約連結損益計算書

	2004年3月期 第3四半期 (2003.4~2003.12)	2003年3月期 第3四半期 (2002.4~2002.12)	増減		(参考) 2003年3月期 (2002.4~2003.3)
			金額	増減率	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
売上高	190,644	193,017	2,372	1.2	308,838
売上原価	142,383	141,804	578	0.4	230,165
売上総利益	48,261	51,213	2,951	5.8	78,673
販売費及び一般管理費	53,287	50,813	2,473	4.9	69,837
営業利益(は損失)	5,025	399	5,425	-	8,835
営業外収益					
受取利息及び受取配当金	110	115	4	3.5	156
その他	1,501	800	700	87.5	1,078
営業外費用					
支払利息及び社債利息	439	698	258	37.0	883
その他	59	70	11	15.6	172
経常利益(は損失)	3,913	545	4,459	-	9,014
特別利益					
固定資産売却益	11,967	-	11,967	-	-
厚生年金基金代行部分返上差額	-	7,798	7,798	-	7,798
その他	47	69	21	30.8	11
特別損失	1,939	156	1,783	1,141.4	1,183
税金等調整前当期純利益	6,161	8,257	2,095	25.4	15,640
法人税等	3,360	3,712	351	9.5	7,078
少数株主利益	80	76	3	4.3	215
当期純利益	2,720	4,468	1,747	39.1	8,346

## 要約連結貸借対照表

	2004年3月期 第3四半期 (2003年12月末)	2003年3月期 第3四半期 (2002年12月末)	増減		(参考) 2003年3月期 (2003年3月末)
			金額	増減率	
	百万円	百万円	百万円	%	百万円
(資産の部)					
流動資産					
現金及び預金	18,264	17,815	448	2.5	27,878
受取手形及び売掛金	34,213	32,656	1,557	4.8	79,208
たな卸資産	27,861	30,726	2,865	9.3	15,617
その他	29,404	30,321	917	3.0	16,652
流動資産計	109,743	111,521	1,777	1.6	139,356
固定資産					
有形固定資産	31,139	39,655	8,515	21.5	37,776
無形固定資産	14,064	14,427	362	2.5	12,786
投資その他の資産					
投資有価証券	8,160	7,852	307	3.9	7,419
繰延税金資産	12,159	8,856	3,303	37.3	12,102
その他	13,681	13,814	133	1.0	13,851
投資その他の資産計	34,001	30,523	3,478	11.4	33,372
固定資産計	79,206	84,606	5,399	6.4	83,936
資産合計	188,950	196,127	7,177	3.7	223,292
(負債の部)					
流動負債					
支払手形及び買掛金	22,409	23,290	881	3.8	40,460
短期借入金及び 長期借入金(1年以内)	8,669	16,239	7,570	46.6	12,645
コマーシャル・ペーパー	-	5,000	5,000	100.0	6,000
その他	31,447	27,702	3,744	13.5	32,156
流動負債計	62,525	72,232	9,706	13.4	91,261
固定負債					
社債	8,000	-	8,000	-	8,000
長期借入金	18,998	23,532	4,534	19.3	21,000
退職給付引当金	2,086	4,542	2,455	54.1	3,402
その他	3,649	6,449	2,799	43.4	5,881
固定負債計	32,733	34,523	1,789	5.2	38,283
負債合計	95,259	106,755	11,496	10.8	129,544
少数株主持分	657	1,545	888	57.5	1,683
(資本の部)					
資本金	5,483	5,483	-	-	5,483
資本剰余金	15,281	15,281	-	-	15,281
利益剰余金	72,341	66,606	5,735	8.6	70,486
その他有価証券評価差額金	1,729	457	1,272	278.3	814
自己株式	1,803	2	1,800	-	2
資本合計	93,033	87,826	5,206	5.9	92,063
負債、少数株主持分 及び資本合計	188,950	196,127	7,177	3.7	223,292

**要約連結キャッシュ・フロー計算書**

項目	2004年3月期 第3四半期 (2003.4～2003.12)	2003年3月期 第3四半期 (2002.4～2002.12)	(参考) 2003年3月期 (2002.4～2003.3)
	百万円	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益	6,161	8,257	15,640
減価償却費	15,094	15,661	21,232
引当金の減少額	1,440	10,070	11,380
有形固定資産売却益	11,967	-	-
売上債権の減少額	45,321	52,727	6,176
たな卸資産の増加額	12,234	8,717	6,391
仕入債務の減少額	18,034	17,805	656
その他営業活動によるキャッシュ・フロー	9,869	6,624	4,096
小計	13,032	33,428	41,501
利息及び配当金の受取額	110	79	121
利息の支払額	406	658	919
特別退職支援金の支払額	-	16,530	16,530
法人税等の支払額	1,029	3,681	3,880
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,706	12,638	20,291
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	7,091	13,699	17,232
有形固定資産の売却による収入	14,711	160	196
無形固定資産の取得による支出	9,076	5,369	8,129
その他投資活動によるキャッシュ・フロー	5,600	222	277
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,145	18,685	24,887
財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純減少額	5,236	3,689	3,618
長期借入れによる収入	1,600	200	1,420
長期借入金の返済による支出	2,342	792	8,209
社債の償還による支出	-	10,000	10,000
社債の発行による収入	-	-	8,000
コマーシャル・ペーパーの純増減額	6,000	5,000	6,000
自己株式の取得による支出	1,800	-	-
配当金の支払額	816	822	822
その他財務活動によるキャッシュ・フロー	935	32	261
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,530	10,071	7,491
現金及び現金同等物の増減額	321	16,118	12,087
現金及び現金同等物の期首残高	27,831	39,853	39,853
新規連結による現金及び現金同等物の増加額	83	64	64
現金及び現金同等物の期末残高	28,235	23,799	27,831

## 6. 受注及び販売の状況

### (1) 受注の状況

区分	受注高		受注残高	
	百万円	前年同四半期比	百万円	前年同四半期比
サービス	110,154	0.5%	86,751	+1.0%
ソフトウェア	21,263	17.1%	22,404	15.4%
ハードウェア	47,102	17.8%	21,650	30.5%
合計	178,520	7.8%	130,806	8.9%

(注) ・受注残高については、1年以内売上予定の残高を記載しております。

・受注高および受注残高については、従来顧客の内示を基準に集計しておりましたが、当期より契約を基準に集計する方法に変更しております。なお、前年同四半期比については、前年同期の受注高および受注残高を当期と同じ基準で集計した数値を基に算出しております。

(ご参考)

・内示ベースの受注年度見通しは以下の通りであります。

区分	通期受注見通し	前期	増減	
			金額	増減率
サービス	184,071	171,524	12,547	+7.3%
ソフトウェア	40,155	43,198	3,043	7.0%
ハードウェア	90,872	86,184	4,688	+5.4%
合計	315,098	300,906	14,192	+4.7%

### (2) 販売実績

区分	金額	
	百万円	前年同四半期比
サービス	112,551	+0.7%
ソフトウェア	30,028	2.6%
ハードウェア	48,065	4.7%
合計	190,644	1.2%